


整理番号	HT25023	分野	農学	(キーワード)生態, 昆虫, 菌根菌, 植物
------	---------	----	----	------------------------

## 山形大学

### 生物の多様性を考える -土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用-

先生(代表者)	安田 弘法(やすだ ひろのり) 副学長、農学部・教授			
自己紹介	<p>現在、地球上で命名されている生物の種数は約 175 万種です。これらの生物は、南極、砂漠、高山、熱帯などほとんど全ての地域に適応して種を存続させています。私は、この多様性の高い生活様式を持つ生物(昆虫)を材料に、数の決まり方やその法則性の解明にロマンを求めて研究をしています。</p> <p>平成 16 年からインドネシアと本学の総勢 15 名の教員からなる国際共同研究プロジェクトで、熱帯の土壌微生物が地上部生物の多様性創出とその維持機構に及ぼす影響を解明する研究を始めており、その研究の中で得られた成果を皆さんにご紹介します。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成25年 9月28日(土)	(対象)	高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	山形大学農学部 3 号館 4 階 401 講義室		(集合時間)	8:30
開催会場 (集合場所)	山形大学農学部 3 号館 住所: 〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23 アクセスマップ: <a href="http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html">http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html</a>			
<b>内 容</b>				
<p>生物の進化や生物圏における生命の維持のためには、生物の多様性がとても重要です。なぜなら、生物(微生物、植物、動物)は、個々に生きているわけではなく、他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しているからです。</p> <p>そこで本プログラムでは、最初の土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。そして、土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さを皆さんに伝えます。</p>				
<b>スケジュール</b>			<b>持 ち 物</b>	
8:30~ 9:00 受付(3号館 4階 401 講義室) 9:00~ 9:15 開講式(あいさつ・オリエンテーション、科研費の説明) 9:15~10:00 講義; 生物の多様性を考える —土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用— 10:00~10:15 休憩 10:15~11:35 実験 1; 土壌微生物を観察する—菌根菌の役割 (休憩 10 分含む) 11:35~12:35 昼食(実施担当者・協力学生と参加者の交流会)、休憩 12:35~13:55 実験 2; 植物を分析する—ポリフェノールの役割 (休憩 10 分含む)			ノート 筆記用具	
			<b>特 記 事 項</b>	

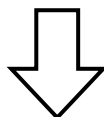
13:55~14:25	クッキータイム	特になし
14:25~15:45	実験3:昆虫を観察する—植食者と捕食者との関係 (休憩10分含む)	
15:45~16:00	修了式(未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影)	
16:00	終了、解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	山形大学農学部企画広報室 石田 樹里
住所：	〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23
TEL 番号：	0235-28-2911
FAX 番号：	0235-28-2812
E-mail：	nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年9月13日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
安田 弘法	H16-H19	基盤研究A	16255002	熱帯の土壌微生物が植物・植食者・捕食者群集の多様性創出とその維持に及ぼす影響



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。